



ラボの紹介



日本体育大学



1. 調査研究の概要 (構成団体: 昭和薬科大学、洗足こども短期大学)



テーマ 遊びで自らのからだを感じて知って考える！

検証内容 子ども自身が「遊び」によるからだや生活の変化を感じて知って考える活動を実施し、効果的な活動(からだの学習)の手法を検証

対象

小学2年生～中学2年生

実施時期

R7年10月～11月(8回)

主な実施場所

協力フリースクールとその近隣公園

活動内容

屋内外での「遊び」前後で、心拍数、体温等を測定し、子ども自身がからだや生活の変化を感じて、知って、考える活動を実施

活動内容

第1回	自分のからだを感じよう	心拍数、体温等を測り、自分のからだを知る
第2回	からだを使って遊ぼう① モノを使って遊ぼう	新聞紙やフラフープを使用し、様々な方法でからだを動かす
第3回	からだを使って遊ぼう② からだを感じて遊ぼう	触覚や味覚、嗅覚を使い、からだを動かす
第4回	屋外で活動しよう① 屋外を感じて遊ぼう	視覚以外の感覚を研ぎ澄まし、手触りビンゴを作る
第5回	屋外で活動しよう② 屋外で感じてみよう	屋外にあるもので「●●」に見えるものを探す
第6回	みんなでモノづくり① からだを使って絵を作ろう	指と掌を使い、グループごとに絵を描く
第7回	みんなでモノづくり② 写真に息を吹きこもう	写真に合う言葉を考えて写真に加え、1コマ漫画を作る
第8回	仲間のからだを感じよう	仲間のからだを測定し、スキンシップを取り入れ遊ぶ

活動概要

2. 調査研究活動の様子(1)



第1回:自分のからだを感じよう



唾液アミラーゼ(ストレスの数値)を測定している様子

第2回:からだを使って遊ぼう①モノを使って遊ぼう



新聞島(ジャンケンに負けると足元にある新聞を折り畳むゲーム)を行っている様子

第3回:からだを使って遊ぼう②からだを感じて遊ぼう



視覚と嗅覚を遮断し、何味のグミを食べているか当てている様子

第4回:屋外で活動しよう①屋外を感じて遊ぼう



公園にあるものに触れて、様々な手触りを探している様子

2. 調査研究活動の様子(2)



第5回:屋外で活動しよう②屋外で感じてみよう



公園にあるものの中から、顔に見えるものを探している様子

第6回:みんなでモノづくり①からだを使って絵を作ろう



手のひらや指を使って画用紙に絵を描いている様子

第7回:みんなでモノづくり②写真に息を吹きこもう



床に置かれた写真と吹き出しを選んで1コマ漫画を作っている様子

第8回:仲間のからだを感じよう



両手をランダムに繋ぎ「人間知恵の輪」に挑戦している様子

3. 調査研究活動の関係者の声



参加児童生徒の声

- ラボの先生や大学生がとても話しやすいので、友達感覚で話せて楽しかった。
- 初めて会う人と話すのが苦手だったが、知らない人でも話しやすくなったと感じる。
- ラボを通していろんな新しい人と会話をする機会がとても多かったので、自分から人に話しかけに行くことが楽になった。

協力フリースクールスタッフの声

- 最初は活動に踏み込めない子供も、回数を重ねるごとに、コミュニケーションをしっかりと取れるようになっていて、少ない実施回数の中でも子供の成長を感じることができた。
- 苦手なものに対して、克服に近づいた子供もいた。自分以外の人のために頑張ろうとしたり、葛藤しながら頑張っている子供たちの姿を親御さんにも感じていただけた。
- ラボ活動の時間帯にスタッフから声をかけなくても自ら今やっている遊びに区切りをつけるように、メリハリの付け方・習慣が自分の生活でも身に付いた。

ラボメンバーの声

- 遊ぶということが楽しいと思ってもらえる、その経験を増やすと共に、遊びを通して自分が一生付き合う体を知って、感じて考える機会を提供できるような活動を構築した。
- 最初は緊張が強かったが、だんだん和らぐ様子が見られた。2つのフリースクールのどちらの所属の子供かわからなくなるほど、子供達が活動を共有していた。
- 大人があれこれ指示を出して子供を動かさずとも、子供には育ちたい発達欲求や学びたい発達欲求がある。環境を準備すれば、子供は勝手に動き出す、と活動を通じて感じた。